

CASBEE_Sapporo2014v1.2
(仮称)S1W17MS

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	基本設計段階				重点評価項目					建物全体・共用部分	住居・宿泊部分		全体				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄						評価点	重み係数		評価点	重み係数		
	A	B	C	D													
Q 建築物の環境品質													2.9				
Q1 室内環境													3.3				
1 音環境													3.3				
1.1 騒音													4.0	0.15	3.0	1.00	
1.2 遮音													5.0	0.50	3.0	0.50	
1.2.1 開口部遮音性能													3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2.2 1 開口部遮音性能													3.0	1.00	3.0	0.30	
1.2.3 2 界壁遮音性能													-	-	3.0	0.30	
1.2.4 3 界床遮音性能(軽衝撃源)													-	-	3.0	0.20	
1.2.5 4 界床遮音性能(重衝撃源)													-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音													-	-	-	-	
2 温熱環境													3.6	0.35	3.6	1.00	3.6
2.1 室温制御													4.2	0.50	4.2	0.50	
2.1.1 室温													5.0	0.63	5.0	0.63	
2.1.2 1 室温													3.0	0.38	3.0	0.38	
2.1.3 2 外皮性能													-	-	-	-	
2.1.4 3 ゾーン別制御性													-	-	-	-	
2.2 湿度制御													3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式													3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境													2.4	0.25	2.7	1.00	2.5
3.1 昼光利用													3.0	0.30	2.4	0.50	
3.1.1 1 昼光率													3.0	0.60	3.0	0.50	
3.1.2 2 方位別開口													-	-	1.0	0.30	
3.1.3 3 昼光利用設備													3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策													1.0	0.30	3.0	0.50	
3.2.1 1 昼光制御													1.0	1.00	3.0	1.00	
3.2.2 2 眩り防止対策													-	-	-	-	
3.3 照度													3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御													3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境													3.6	0.25	4.0	1.00	3.8
4.1 発生源対策													4.0	0.60	4.0	0.63	
4.1.1 1 化学汚染物質													4.0	1.00	4.0	1.00	
4.1.2 2 化学汚染物質													-	-	-	-	
4.2 換気													3.0	0.40	4.0	0.38	
4.2.1 1 換気量													3.0	0.50	4.0	0.33	
4.2.2 2 自然換気性能													-	-	5.0	0.33	
4.2.3 3 取り入れ外気への配慮													3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理													-	-	-	-	
4.3.1 1 CO ₂ の監視													-	-	-	-	
4.3.2 2 喫煙の制御													-	-	-	-	
Q2 サービス性能													-	0.30	-	-	2.6
1 機能性													2.8	0.40	2.0	1.00	2.2
1.1 機能性・使いやすさ													4.0	0.40	2.0	0.60	
1.1.1 1 広さ・収納性													-	-	-	-	
1.1.2 2 高度情報通信設備対応													-	-	2.0	1.00	
1.1.3 3 バリアフリー計画													4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性													1.0	0.30	2.0	0.40	
1.2.1 1 広さ感・景観													-	-	3.0	0.50	
1.2.2 2 リフレッシュスペース													-	-	-	-	
1.2.3 3 内装計画													1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理													3.0	0.30	-	-	
1.3.1 1 維持管理に配慮した設計													4.0	0.50	-	-	
1.3.2 2 維持管理用機能の確保													2.0	0.50	-	-	
1.3.3 3 劣化防止対策													-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性													2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震													3.0	0.50	-	-	
2.1.1 1 耐震性													3.0	0.80	-	-	
2.1.2 2 免震・制振性能													3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数													3.6	0.30	-	-	
2.2.1 1 躯体材料の耐用年数													4.0	0.20	-	-	
2.2.2 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													5.0	0.20	-	-	
2.2.3 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													3.0	0.10	-	-	
2.2.4 4 空調換気ダクトの更新必要間隔													3.0	0.10	-	-	
2.2.5 5 空調・給排水配管の更新必要間隔													3.0	0.20	-	-	
2.2.6 6 主要設備機器の更新必要間隔													3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性													1.4	0.20	-	-	
2.4.1 1 空調・換気設備													3.0	0.20	-	-	
2.4.2 2 給排水・衛生設備													1.0	0.20	-	-	
2.4.3 3 電気設備													1.0	0.20	-	-	
2.4.4 4 機械・配管支持方法													1.0	0.20	-	-	
2.4.5 5 通信・情報設備													1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性													3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり													-	-	2.6	0.50	
3.1.1 1 階高のゆとり													-	-	3.0	0.60	
3.1.2 2 空間の形状・自由さ													-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり													-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性													3.0	1.00	-	-	
3.3.1 1 空調配管の更新性													3.0	0.20	-	-	
3.3.2 2 給排水管の更新性													3.0	0.20	-	-	
3.3.3 3 電気配線の更新性													3.0	0.10	-	-	
3.3.4 4 通信配線の更新性													3.0	0.10	-	-	
3.3.5 5 設備機器の更新性													3.0	0.20	-	-	
3.3.6 6 バックアップスペースの確保													3.0	0.20	-	-	

CASBEE_Sapporo2014v1.2
(仮称)S1W17MS

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			C			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		札幌市都市景観条例に適合	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮						3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	2.6
1 建物外皮の熱負荷抑制	A					3.0	0.20		-	3.0
2 自然エネルギー利用	A					2.0	0.10		-	2.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	2.5	0.50		-	2.5
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A					2.5	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)	A					3.0	0.20		-	3.0
4 効率的運用						3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価									-	
4.1 モニタリング	A								-	
4.2 運用管理体制	A								-	
集合住宅の評価						3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護						2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水						1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減						3.4	0.60		-	3.4
2.1 材料使用量の削減		B				3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			磁器質タイル	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			設備の更新・点検等時に容易に取り外せる設計	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.2	0.20		-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.3	0.70		-	
1 消火剤		B			不活性ガス消火剤使用	4.0	0.33		-	
2 発泡剤(断熱材等)		B				3.0	0.33		-	
3 冷媒		B				3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		B			住戸の暖房・給湯のみ	3.5	0.33		-	3.5
2 地域環境への配慮						2.6	0.33		-	2.6
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制					十分な駐車場・駐輪場	4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	敷地内全てロードヒーティングとし、雪を敷地外に出さないようにした。	4.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮						3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40		-	
1 騒音						3.0	0.33		-	
2 振動						3.0	0.33		-	
3 悪臭						3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						3.0	0.40		-	
1 風害の抑制						3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制									-	
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制						3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30		-	